

# 卒業するみなさんへ

## 副学長・学部長からの応援メッセージ

「卒業(修了)おめでとうございます。5人の副学長と9人の学部長からの応援メッセージをお届けします。最新の大学の情報は、ホームページやSNSを通じて積極的に発信していきますので、今後も本学の活動や取り組みを応援してください。教職員一同、皆さんの今後の活躍を心からお祈り申し上げます。」



### 幸運は準備された心のみに宿る

学務担当副学長 伊呂原 隆

ご卒業おめでとうございます。はなむけに私が好きな言葉を送ります。「Chance favors the prepared mind (幸運は準備された心のみに宿る)」。これは、著名なフランスの細菌学者で、ワクチンの予防接種という方法を開発したルイ・パスツールの言葉だそうです。学部卒業生の多くは、本学へ入学するや否や緊急事態宣言に直面するなど予期せぬコロナ禍に見舞われ、学生生活のスタートは思い描いていたとおりとはならなかったかもしれません。しかし、どんな困難に直面しても、志を高くもち寸暇を惜しんで学び続けることによって、無事に本日を迎えることができたのではないかと思います。

卒業は人生のゴールではありません。今すぐに次の目標に向かって新たな挑戦を始めてください。常日頃の準備を怠らない者のみが幸運を掴み取ることができるのですから。ご活躍をお祈りします。



### 皆さんの旅立ちを心からお祝します

総合グローバル学部長 前嶋 和弘

皆さんの学生生活は様々な困難なことがあったのではないのでしょうか。何とんでも新型コロナウイルスの感染被害で学生生活は根本的に変わり、留学など描いていた夢まであきらめた方もいると思います。皆さん自身や身近な方にも大きな健康被害が及んでいるかもしれません。皆さんの心労、いかばかりかと胸が痛みます。ただ、このような時期こそ、「グローバル化とは何か」という言葉を真剣に考える良い機会だったのではないのでしょうか。なぜならコロナ禍は「グローバル化」の負の部分そのものだからです。感染症流行によって露わになった不平等や社会・国際秩序の変化が現在進行形でまだ続いています。一方で人々の連帯と協力の可能性などの新しい潮流も見えます。卒業後に皆さんが直面する「コロナ後」の世界はこの大きな潮流を見つめることに他なりません。皆さんのご成長、とても期待しています。



### 上智大学卒業生の誇りをもって、それぞれの未来へ

法学部長 田頭 章一

ご卒業おめでとうございます。学位授与式を迎えるにあたり、それぞれの学生生活を振り返り、様々な感慨をいただいでいらっしゃることでしょ。上智大学での学生生活では、学位記に示された学業の成果だけでなく、大学内外で得た知識・経験、信頼できる教師や友人など、かけがえのない「財産」を得られたものと思えます。これらの財産は、皆さんが今後社会で活躍する際に、必ず力になってくれることでしょう。順調な時だけでなく、なかなか前に進めない時にも、否そのような時にこそ、大学生活で学んだことを思い出してください。意志があるところには、無限の可能性があると信じます。上智大学の卒業生であることを誇りとして、また「他者のために、他者とともに」の精神を忘れずに、自分自身の未来を力強く切り拓いていってください。



### 智の創造とともに豊かな人生を

学術研究担当副学長 岡田 隆

卒業・修了の日を迎えられた皆さん、誠におめでとうござい。本学での学修の成果は、お一人お一人が世の中で活躍する際の心強い味方となり、またご自身の人生観を一層豊かに形作る礎となってくれることでしょう。一方、これからの新たな活躍の場において、社会の複雑さとその解釈の重要性を改めて実感する機会や、人間とは何か、自分とは何かという、自身の内面について一層深く顧みる機会が訪れるかもしれません。皆さんは、生涯にわたる学びのための基礎を本学で育んだ方々であり、外の世界・内の世界への探求に向け、それがたとえ未知の領域であったとしても自信を持って挑戦することができます。先人の智と現代の智を伴走者とし、未来に向けた智を自ら創造し続ける、豊かな人生を送られますことを祈念いたします。



### 全人稱的な思考を大切にしよう

文学部長 寺田 俊郎

みなさんが大学で学んできたことの一つに客観的に物事を考えることがあります。もちろん、自分の主観的な思いから離れ、第三者の観点から物事を思考することは大切です。しかし、客観性を重視するあまり主観的な思考を軽視すると、思考を不当に狭め、思考の豊かさを損なう恐れがあります。「私はこう考えますが、あなたはどう」という問いに対して「私はこう考えます」と答える観点のやりとりを通じて考える対話的な思考が大切です。「私」の観点から考える「第一人稱的」な思考(主観的)、第三者の観点から考える「第三人稱的」な思考(客観的)、そして「あなた」と「私」の観点をやりとりしながら考える「第二人称的」な思考(相互主観的)、そのいずれも大切にすることを、いわば「全人稱的」な思考を心がけてください。



### 他者への共感力を大切に

外国語学部長 木村護郎クリストフ

この短歌(奈良市 山添聖子、朝日歌壇2024年2月25日)は、気象予報士の一瞬の言い淀みをとらえています。コンピュータの言語情報処理能力の向上は目をみはるものがある(ようになる)でしょう。人工知能(AI)の進展の著しいなか、天気予報自体、AIに任せ方がいいのかもかもしれません。でも、AIはこのように被災者の状況に思いをはせるでしょうか。また聞き手としてそのことを受けとめて短歌に詠むでしょうか。みなさんがどんな仕事や役割を担うにしても、ただ「機械的に」こなすのではなく、他者を思いやり、他者に寄りそう気持ちを忘れないでください。「他者のために、他者とともに」はそこからはじまるにちがいありません。



### 幸せな記憶を分ける人に

学生総務担当副学長 永井 敦子

最近メディアで「卒業」という言葉をよく耳にします。女子アナの番組降板を「卒業」と表現するのは、あなたのアナウンサー人生はこれで終わりではないのだから、これからもどこかでがんばって下さいという、表面的なねぎらいの言葉のような気もします。しかしそもそも、変化の激しい社会に対応するために一生学び続ける必要が強調されている現代において、「大学を卒業する」ことにどれだけの意味があるのでしょうか。おそらくその答えは、皆さんひとりひとりが一瞬立ち止まって考えなくてはならないのだと思います。そして今までの自分が経験した幸せな時やその記憶を、これからは皆さんが家族に、友人に、そして世界の見知らぬ人たちにも分けてあげる人になってくれたら、きっと世の中はその分明るくなるでしょう。今春上智大学を卒業・修了する皆さんは、上智大学での学びの記憶とともに、他者へのまなざしということを見非皆さんの生き方の軸として生涯大事にしてください。



### 他者へのまなざし

神学部長 川中 仁

わたしたちは皆、好むと好まざるとにかかわらず、様々な次元で他者とのかわりのうちにあります。わたしたちの他者との関係性は、個人的な人間関係のレベルにとどまらず、普段はあまり意識していないような地球規模の関係性のレベルにまで広がっていて、わたしたちはそのような他者との関係性のネットワークのうちに生かされています。上智大学の掲げる「他者のために、他者とともに」という教育精神は、他者との関係性のうちにあるという人間存在の根本的な現実を意識的に受けとめるとともに、分断によって損なわれた様々なレベルの関係性の回復のために尽力することです。今春上智大学を卒業・修了する皆さんは、上智大学での学びの記憶とともに、他者へのまなざしということを見非皆さんの生き方の軸として生涯大事にしてください。

## おつかれさまでした

### 本年度退職教職員

長年本学の教育・研究に尽力いただいた教職員が、3月31日付で退職する。退職者を代表して、理工学部物質生命理工学部の早下隆士特別契約教授との早下隆士特別契約教授と職員との渡邊由美子(専任教員の定年退職)に寄稿いただいた。

片山はるの(神学部神学) 養成専攻(笹川昇平 工学部物理理工学専攻) 森裕子(同、川村信三) 長田彰文(文学部史学) 裕史(同、瀬田正之) 同 国文学科、メヒティルド・ドゥッセル(同、ド・ツァン) 同 文学部 文学部、岡知史(総合人間科学部社会学) 江藤淳一(法学部) 国際関係法学科、兼原敦子(同、出口耕自) 同 教数(同、オキモト) 外国語学部英語科、小塩和人(同) オフニール ス鹿島ライノルト(同、イツ語学科、高柳和雄) 理工学部機能創造理工学(理工学部機能創造理工学) 堤康徳(言語教育研究センター) 逸見シヤンタル(同、廣里恭史) グローバル教育センター) 特別契約教授の契約期間満了) 原強(法学研究科法曹) 渡邊由美子(総務局広報) 大日方清剛(財務担当理事) 佐藤敏男(学術情報局研究推進センター) 萱岡隆夫(女子人材養成研究センター) 飯田洋司(白聖母キャンパス事務センター)

## 叡智とともに

### 理工学部物質生命理工学



2005年に東北大学より上智大学に教授として着任いたしました。約20年の在職中、理工学部化学科、物質生命理工学で分析化学の研究に専念することができ、本学に貢献することができました。振り返りますと、

### 早下 隆士

10年からは理工学部長、研究科委員長に、そして2014年から3年間は第15代学長を務めました。学長として初めて迎えた卒業式では、3・11で入学式の無かった学生に、工学部で卒業できるグリーンサイエンス・エンジニアリングコースを開設し、翌年からは大学院にも英語コースを開設することで、本学のSDGsに関する環境に特化した英語コースに世界中から優秀な留学生を受け入れることができ、これらは現在も継続されています。また、女性研究者支援事業では、大学のダイバーシティ環境改善を進め、文部科



### 新たな一步と出会いに!

経済学部長 竹之内 秀行

ご卒業・修了おめでとうございます。皆さんは、4月からそれぞれ新しい道を歩まれることになります。新しい道に進めば、新しい人との出会いや新しい環境での経験が待っています。それらは、どのような出会いや出来事であろうと、皆さんの中に染み込んでいくものです。さまざまな出会いを大切にしながら、新しい環境にしっかりと向き合ってください。そして、丸ノ内線の車窓から真田堀や2号館が見えたときや、中央線や総武線で四ツ谷駅を過ぎるときに、少し上智大学のことを思い出してください。ほんの少しかもしれませんが、懐かしい思いやホッとした気持ちに導いてくれる、と思います。皆さんの将来が、実り豊かなことを心より願っています。



### 一步踏み出す勇氣

高大連携担当副学長 西澤 茂

皆さん、卒業おめでとうございます。日本経済は、35年ぶりに平均株価が最高値を更新しました。しかし、1989年当時とは異なり、あまり成長実感がなく、この傾向は長続きしないという悲観的な見方が多い気がしています。経済の将来予測は容易ではありませんが、確実なことは、日本経済の将来は、皆さんの力にかかっているということです。将来を悲観的に考えて保守的な姿勢をとるのではなく、日本経済を牽引するのは自分たちであるという自覚をもって、積極的に活動してください。その時に重要なのは、「一步踏み出す勇氣」というマインドです。そのチャレンジ精神をもつことが、自分の将来を進展させる原動力となり、さらには日本経済を牽引する強い力になると思います。是非、ポジティブなマインドをもって、次代の日本を背負うソフィアンになってください。



### 先頭に立って挑戦を!

理工学部長 澁谷 智治

卒業おめでとうございます。皆さんが社会に巣立った年は、「生成AIが世に出た年」と記憶されるのかもしれませんが、「知的な仕事を素早くこなす強力なライバル」の出現には悲観的な声も多く、このめぐり合わせに不安を感じる人も少なくないでしょう。想像を絶するインパクトを持ったこの技術とどう付き合っていくべきなのか、私達は未だその答えを持っていません。それでも人類は、この大きな問題に挑み続けることでしょう。そして、社会に出る皆さんには、その挑戦の先頭に立ち続けてほしいと思います。それは、問題の解決でも克服でも、挑み続ける人に寄り添うのも良いと思います。その姿勢こそが「上智で学んだことだ」と胸を張る皆さんの姿を期待しています。



### 健やかで安寧な日々を送ってください

総合人間科学部長 酒井 朗

ご卒業、ご修了おめでとうございます。学生生活はいかがだったでしょうか。新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な制約を受けた方も多くと思います。そのような中でも学修に動かし、種々の活動に取り組まれてきたことに心より敬意を表します。新天地での一層のご活躍を期待しております。皆さんに1つお願いしたいことは、困ったとき悩んだときは周りを頼ってほしいということです。これまで自分で何事もやり遂げてきた人もいますが、これからの長い人生の中では、自分ではどうしようもない局面が訪れることがあります。そうしたときには勇気をもって周りの人に支えを求めてください。すべての皆さんの健やかで安寧な日々を心よりお祈り申し上げます。



## 良き伝統を大切に

### そこにあってほしい

### 総務局広報グループ

### 渡邊 由美子



定年退職を迎え、心あたり、長きにわたる職生活振り返る機会をいただき、感謝申し上げます。私が就職したのは1979年。同期の職員は25歳ほどです。顔ぶれは、本学など4年制大学の新卒者、大学院修了者、留学経験者、外国人籍の人、転職者、高校を卒業したばかりの人、そして私を含む全国各地の短大卒5人など、年齢・経歴もさまざま。当時から上智学院は多様な富んだ人材を受け入れていたのだと、改めて学院の先賢性を思いました。45年の間に教務部門と管理部門、合わせて約100の部署を経験してきました。それぞれに、皇(ソフィア)の精神を



### Share and Make a Difference!

Angela Yiu, Dean, Faculty of Liberal Arts

Congratulations to Graduates of 2024!

As you celebrate your well-deserved degree, please remember many others your age are denied a chance to earn a college degree because of war, natural and human-made disasters, poverty, illness, and many other reasons. It falls upon you to live your life fully and share your knowledge and ability to make a difference in this world where most people are not as fortunate as you. Sharing is embodied in the Sophia spirit of "For Others, With Others," and it will also bring you happiness and fulfillment!



### Resiliency and Toughness

Tetsuo Morishita, Vice President for Global Academic Affairs

Congratulations to all the graduating students!

From now on, you may make mistakes and even face various unreasonable situations that are beyond your control. Such is life, but do remember there will be others willing to help you when in need. Keeping a positive mindset, I hope you gain resilience and toughness to overcome any challenges at hand.